

## 八景島周りのタコ釣り

2014/12/2 金沢区在住 山澤

はじめに、6月中旬から12月迄東京湾側岸壁、八景島側岸壁上からタコ釣りを楽しんでいます。6月中旬から8月のお盆頃まで石ガニやイソツペが岸壁で産卵します。タコは餌を求めて深場から餌のある近場に来ます。この頃のタコは、年を越した2kgオーバーを釣ることが出来ます。その後、500g前後の夏ダコが釣れます。秋口以降は、数は釣れませんが大形が多くなります。11月、12月は、3kgオーバーも夢ではありません。

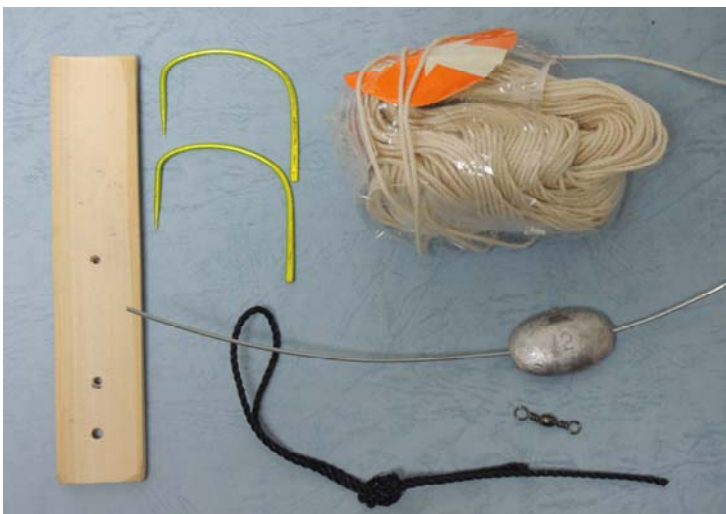
タコはテトラ付近、ケーソンのヘチ、根周りに住居を構えます。最近では根も埋まり時合いのころ餌を求めてヘチに寄ってくるが多くなってきました。タコを釣るには、事前にタコテンヤ仕掛けの制作、餌となる石ガニの確保が必要になります。

タコ釣りは、手釣りと、竿釣りがあります。どちらもテンヤが海底についている状態で、小突いてテンヤを躍らせます。タコが居れば必ずテンヤに覆いかぶさります。テンヤに負荷がかかった時、強くあわせて引き上げるとタコをゲットすることが出来ます。

タコ釣りは根掛かりが付きものです。ロスも多く仕掛けのテンヤは多めに作っておく必要があります。テンヤ仕掛け及びタコ釣りは名人に教えてもらい自分流にアレンジすることをお薦めします。私は、西柴在住の吉田名人からテンヤ仕掛けの制作、釣り方を教えていただきました。吉田名人のタコテンヤは、全て手作りです。私には、無理なので簡単に制作出来るようにアレンジしました。

### 1 竹製タコテンヤ仕掛けの制作

タコテンヤは各自のノウハウがあり形も色々です。ここでは、吉田名人のテンヤを私流にアレンジしたタコテンヤ仕掛けです。材料は下の写真に示した竹の船(餌付け部)、タコ掛け針、タコ糸、亀の甲錘、針金、ハリス、ヨリモドシです。



## 1.1 材料

### 1.1.1 竹の船(餌付け部)

竹の調達は、1月の第2土曜日頃、海の公園でどんど焼きが行われます。当日の早朝門松の竹をいただてきます。なるべく肉厚のものが良いです。近くのベンチで節を外し150mm~170mmの長さに切断します。さらに150mm~170mmの円筒を鉋で8等分にカットします。家に帰り仕上げにかかります。竹の両側を鉋がけします。タコ掛け針を取り付ける側の幅よりハリスを取り付ける側の幅をわずかに小さくなるようテーパーをつけます。タコ掛け針取り付け部は逆台形になるよう上面より下面が狭くなるようテーパーを付けます。竹の船の寸法は概略幅20mm x 長さ150mm~170mmです。錘を取り付ける穴(Φ3.2)2か所、ハリスをつける穴(Φ3.8)1か所をドリルで穴あけをします。出来上がった竹の船は乾燥させ竹の水分を抜きます。

### 1.1.2 タコ掛け針

タコ掛け針は自転車のスポーク、ステンレス棒を曲げて加工しても良いのですが作業時間がかかるので市販のタコ掛け針を使用しています。私は、(株)はりよし製(兵庫県小野市池田町)タコ掛け針大、太地50本入りを使用しています。



### 1.1.3 タコ糸

タコ糸は、タコ掛け針を取り付けるために使用します。1.5mm径が良いと思います。

### 1.1.4 亀の甲錘及び針金

錘は、形を作り溶かして流し込む方法がありますが手間がかかるので簡単な方法として市販品中通し亀の子錘を使用します。底立が取れれば軽いほうがベターです。私は、12号を使用しています。針金は、軟鋼Φ1.6mmを使用します。錘はアールがついているので針金を穴に通してカナヅチでたたき平たくして竹の船に取り付けます。

### 1.1.5 ハリス及びヨリモドシ

ハリスは、落ちていた刺し網を干枚通しで解き使用していますがΦ2mmのポリエチレ

ン燃糸を使用するとよいです。ヨリモドシは、タル型 6 号ぐらいが良いと思います。

## 1.2 タコテンヤ制作

### 1.2.1 タコ掛け針の取り付け

竹の船の側面にタコ掛け針をタコ糸で取り付けます。タコ掛け針の取り付け部は、平打ちになっています。平打ち部をタコ糸で丁寧に巻き付けて取り付け完了です。原理は、竹に木綿糸を巻くことにより海中にテンヤを入れると竹は水を吸って膨らみ、木綿糸は海水を吸うと縮んでタコ掛け針を締め付けます。先人達の知恵です。3kg オーバーのタコでもタコ掛け針は、抜けません。

### 1.2.2 ハリスの取り付け

ハリスは、テトラの辺に落ちている刺し網の切れ端を千枚通しで解き利用していましたがポリエチレン燃糸のφ2.0mm を購入して使用しています。取り付けは、竹の船の下側に瘤を作り抜けられない状態で上にハリスを通し 10cm から 15cm 位のところでヨリモドシを取付けます。

### 1.2.3 亀の子錘の取り付け

中通し亀の子錘に針金を通し金槌でたたき平らにします。亀の子錘は竹の船の下側に取り付けます。針金をペンチで錘が動かないよう締め付けます。



仕上がったタコテンヤ

## 2. タコ釣りの道具

タコ釣りは、手釣りと竿釣りがあります。手釣りの場合、茶渋テロン 24 号を糸巻に 50m 巻、先系ナイロン 18 号を 2m 付ければ十分です。竿釣りの場合、錘負荷 100 から 150 号の 2.7m イカ竿にリール大形にナイロン 20 号又は PE10 号を 50m 巻きます。長い

竿の場合、タコが掛かったらリールを巻き、竿で抜き上げます。大形のタコが掛かるとリールが頑丈でないと巻くことが大変です。

私は、錘負荷 100 から 150 号の 1.8m の鰹ビシ竿及び 2.4m やりいか竿を使用しています。リールはダイワ 3000 番以上、シマノ 5000 番以上に PE8 号を 50m 巻いています。先糸を付けなくても仕掛けの取り付け部で切れてくれます。根掛かりした時、仕掛けの取り付け部から切れるよう道糸を決めてください。根掛かりしたときの切断用に 40mm 角 x 300mm 長さのタヌキを用意すると便利です。

### 3. タコ釣りの餌

タコは甲殻類(えび、カニ)が好物のようです。さんま、鰹、サバ、コノシロ等青魚でも釣れます。鳥の皮、豚の脂身でも釣れます。中でもカニが餌もちもよく私は、イシ蟹を餌にしています。6 月中旬頃から 8 月中旬頃迄イシ蟹、イソッペは、産卵で岸壁に上がってきます。波が静かで海水が澄んでいるときは、蟹が良く見えタモでたくさんとることが出来ます。海の公園の BBQ 場前の岸壁はねらい目です。6m のタモが必要です。捕った蟹は一つずつラップにくるみ冷凍します。100 匹以上確保しておくといいです。



イシ蟹

### 4. タコテンヤにイシ蟹の取付け

タコテンヤの錘を利用してテンヤ上面にイシ蟹を直角に乗せます。イシ蟹の腹を上、爪をタコ掛け針のある前方向にし、タコ糸で仇掛けに数回巻きます。さらに蟹の背中とテンヤの間で 3 回ほど締め付けるように巻いて結びます。爪や足は、ぶらぶら状態です。

釣船では、テンヤと平行に付けます。爪や足は、固定されます。根掛かりしてテン

ヤをロスしない限り1つの蟹で一日間に合います。タコが居ればどちらでも乗ります。

その他の餌の取付けも蟹の取付けと同様最後の締め付けを確実に行わないと途中で餌が取れてしまいます。



蟹の取付け方

## 5. タコの釣り方

たこの釣り方は、糸巻きを利用した手釣りと、竿にリールを付けた竿釣りに分けることが出来ます。初心者は、確実に合わせができる竿釣りを薦めます。竿釣りにも長竿でタコを抜き上げて釣る場合と、短竿でタコを合わせた後に糸を手繰る方法があります。

タコ釣り場所は、福浦岸壁ですが釣り人が多いので迷惑にならないよう空いている所を見つけて準備します。岸壁の上からは、ケーソンに水が被っている時に行います。周りに気を付けて投げ込みます。手前5m位は根が荒くその先は砂地です。テンヤが着底したら糸ふけを取り、小突きながら手前に寄せます。この時テンヤは必ず底について移動していなければタコは乗りません。流れが左右どちらかを知り流れが速い場合、流れに沿ってテンヤを引きます。根掛かりした場合、流れと逆方向に引くとテンヤが外れます。タコが居れば必ず蟹に抱き付きます。タコが乗った時は、移動中のテンヤに負荷がかかります。タコは、蟹を抱いている時、絶対離しません。騙し、騙しテンヤを最短になる位置に持ってきます。態勢を整え強く合わせてタコを引き上げます。合わせが弱いと針掛かりが悪く水面で外れてしまいます。また、岸壁にタコの足が付いてしまうと取り込みが難しくなり逃げられてしまいます。いくら引っ張っても糸が切れるだけです。しばらく糸を張り少し緩めると水の方へ行こうと動きます。そのタイミングでタコを岸壁から外します。岸壁の上から投げて釣るには、多少の経験が必要で仕掛けのテンヤもかなりロスします。干潮時のヘチ釣りをお薦めします。



干潮前後3時間位ケーソンのヘチ釣りを楽しむことができます。ケーソンには北の風が吹いている時は波がかぶるため注意しないと危険です。また、滑る所がありスパイク付長靴とライフジャケットの装備は必須条件です。ヘチ釣りの場合テンヤを底まで落とし、竿で小突きながらテンヤを躍らせます。その動作を繰り返し移動しながら探っていきます。ヘチの下は、根がありごつごつしていますがテンヤは、必ず底に付いていないとタコは乗りません。潮の流れが緩い時は、潮に逆らって移動しても底立ちが取れますが、潮が速い場合テンヤが底から浮いてしまうので潮と同じ方向に移動します。タコが居れば必ず餌の蟹に抱きつきます。タコが乗った時は、移動中のテンヤが動かなくなります。根掛かりの場合があるので移動方向と反対のほうに戻りタコが乗っていることを確認します。テンヤに負荷がかかるのですぐわかります。根掛かりの場合は、ゴツゴツ感があります。タコが乗っている場合は、テンヤの真上で軽く上に竿をあおるとグニュッとした重量が手元に伝わります。タコは蟹を抱いている時は、絶対に離しません。乗っていることを確認できたら竿をタコの乗っている真上に持っていき道糸の糸ふけを取りタコと最短になるよう態勢を整えます。竿先は、水面に入る位にして強く合わせます。合わせ終わりの竿先は、自分の頭より後ろであること。素早く頭の上の道糸を手で繰りタコを水面から出します。この時ケーソンの角にタコの足を付けないよう注意します。もしタコの足がケーソンに付いた時は、道糸を張っていると動きません、道糸を緩めると水の方へ動きます。タイミングを見計らって外します。中途半端な合わせでは水面でタコは外れてしまいます。もしタコが外れた場合、その場所から左右5m位を素早くテンヤを底まで落とし探してみます。沖へ逃げた場合は無理ですが再び乗ることが多いです。乗っては逃げ8回目でゲットした人もいます。2014年は、東京湾のタコが湧いたこともあり3kgオーバーを頭に98杯釣れました。例年の3倍も釣ることが出来ました。タコ釣りは根気のある人に釣れます。タコが居れば必ずテンヤに抱き付きます。運が95%、技が5%の釣りです。



## 5. その他

### 5.1 タコが釣れた時

釣り上げたタコは、網の袋に入れます。私は、金沢文庫のユニオンセンター2階の釣具ポイントで販売していたアサリ入れネットを使用しています。網目も小さくシームレスの円筒で長さ 500mm です。円筒上部に開閉の紐がついています。紐の 5cm 下に直径 4mm、長さ 400mm のタコ糸を 200mm 均等になるよう網の表側に取り付けます。このネットを裏返しに畳んでポケットに入れておきます。ネットは2セットあればよいです。ネットに入れたタコを海中で生かしておく為、ナイロンロープも用意します。

タコを吊り上げた時、歩道、土、砂の上には絶対に置かないでください。タコの吸盤に付いてなかなか取れません。岸壁の上から吊り上げた時は、芝の上に置き、ケーソンの上でしたら何処でも大丈夫です。タコをネットに入れるには、素手で掴むと腕に絡みつかれネットに入れることは容易ではありません。裏返しに畳んだネットをポケットから取り出し、ネットの内側に手を入れタコの首根っこ(足の上部、目のあたり)を抑え腕からネットを下ろします。ネットを揺さぶりタコがネットの底に収まったらネットの紐を締め、さらに 5cm 下のタコ糸をネットに2, 3回巻き結びます。タコの入ったネットにナイロンロープ取り付け海中に沈め生かしておきます。ナイロンロープは、ケーソンのフック、完璧の上の場合自転車の荷台に外れないよう結んでおきます。

### 5.2 タコの茹で方

家に持ち帰ったタコは、頭を裏返しにしてキッチン鋏で内臓を切っていきます。スミイカと違い墨袋も小さく簡単に処理できます。内臓を取り外したら頭を戻し塩もみしながらタコのぬめりを取ります。ぬめりを取らないと臭くて食べられません。3回以上塩もみ、しごかないとぬめりは取れません。大きな鍋にお湯を沸騰させます。ぬめりを取ったタコを足の先 5cm 位お湯の中に入れ足先がくるくると巻いてきたら全体を沸騰したお湯の中に入れます。お湯の中に入れる時間は、塩もみしてふにゃとしたタコがふっくらする30秒が目安です。ふっくらしたら冷水に入れます。タコはほとんど生状態です。そのまま食べても冷凍保存しても良いです。

食べ方は、大きいタコの場合、冷凍したものは半解凍し1~2mmにスライスして刺身、しゃぶしゃぶ、酢の物が出来ます。刺身で硬いなと思ったときは、沸騰したお湯をかけると軟らかく感じます。河豚と同じで厚く切ると歯が立ちません。小さいタコは、ぶつ切りで生でも、里芋や大根と煮ても美味しく食べることが出来ます。タコ飯もお薦めです。タコの食べ方は、いろいろあります。



## 6. おわりに

タコ釣りは、テナヤ仕掛けを多くロスし簡単に釣れないため特定のファンしかいません。仕掛けを自分で制作し、餌の蟹も自分で調達し手と頭を働かせるので高齢者にはもってこいです。また、タコ釣りは探り釣りなので足を使い、仕掛けを小突くので体を動かします。1, 2時間も釣りをすればラジオ体操の代わりになります。夏場のタコ釣りは、熱中症にならないよう、給水を十分とってください。タコが乗った瞬間、水面に姿を見せた時は感動します。遊漁船に乗らなくても、それ以上の釣果が出ることもあります。一度タコ釣り挑戦してみたいはいかがでしょうか。安全第一にタコ釣りを楽しんでください。

追記



今年は、餌の蟹も無くなったのでタコ釣りも終了しようと思っていました。連日大形が数は出ませんが釣れているとのことでした。12月23日午後、魚屋で小さい鰯を購入してタコ釣りにヘリポート近くの岸壁へ行きました。鰯をテンヤに付けて同じ場所で1時間ほど投げては誘っていました。するとテンヤに荷がかかりタコが乗ったことが判りました。騙し騙し手前に寄せ強く合わせ糸を手繰ると大きなタコが水面に現れました。がっちり針掛かりしているので壁に付かれることもなくゲットすることが出来ました。家で計測したら3kgを少し超えていました。今年最後に釣った99杯目のタコの写真です。

